

医療の未来を語る



日時：平成24年7月3日（火）
19：00～20：00

場所：東京研修センター

東京都新宿区富久町11-5 シャトレ市ヶ谷2階

定員：250名（先着順）

参加：無料

GEST：水谷豊（みずたに ゆたか）

1952年北海道生まれ。俳優
テレビドラマ「バンパイア」（68年）で初主演。その後、
「傷だらけの天使」（74年）、「熱中時代」（78年）で
大人から子供まで幅広く支持された。
近年では「相棒」シリーズが大ヒットしている。
今年、映画「HOME 愛しの座敷わらし」が公開された。

現在、医療の現場では、救急医療を必要とする高齢者が増加し、医療必要度や看護度・介護度の高さ、合併症や認知症、受入施設の不足などが大きな問題となっています。

日本慢性期医療協会ではこれらの問題について、医療関係者だけでなく国民の皆様と一緒に議論をすることが必要だと考えています。本講座では、当協会の副会長 安藤たかおと各界の著名人との対談を行い、その内容をブログにて発信し、高齢者等の医療問題に対する国民の皆様の議論を盛り上げていきます。

第1回目は「熱中時代」「相棒」シリーズでおなじみの俳優 水谷豊氏と医療の未来を語ります。



安藤 高朗（あんど う たかお）

東京都八王子市にあり、医療法人社団永生会理事長の安藤高朗（たかお）です。永生会は亜急性期、慢性期を担う永生病院、2次救急病院としての南多摩病院、介護老人保健施設イマジン、同マイウェイ四谷など、地域の皆様の必要とする安心のある医療と介護を提供できるよう努めております。

今後も少しでも地域の医療と介護に貢献できるよう取り組んでいく所存です。今回の市民公開講座が皆様にとりましても、一般市民として医療や介護の現状をより深くご理解いただける場となりましたら幸いです。

座長：竹川勝治（愛和病院 院長）



主催：日本慢性期医療協会

東京都新宿区富久町11-5 シャトレ市ヶ谷2階

Tel 03-3355-3120

Email info@jamcf.jp

URL <http://jamcf.jp>

BLOG <http://manseiki.net>



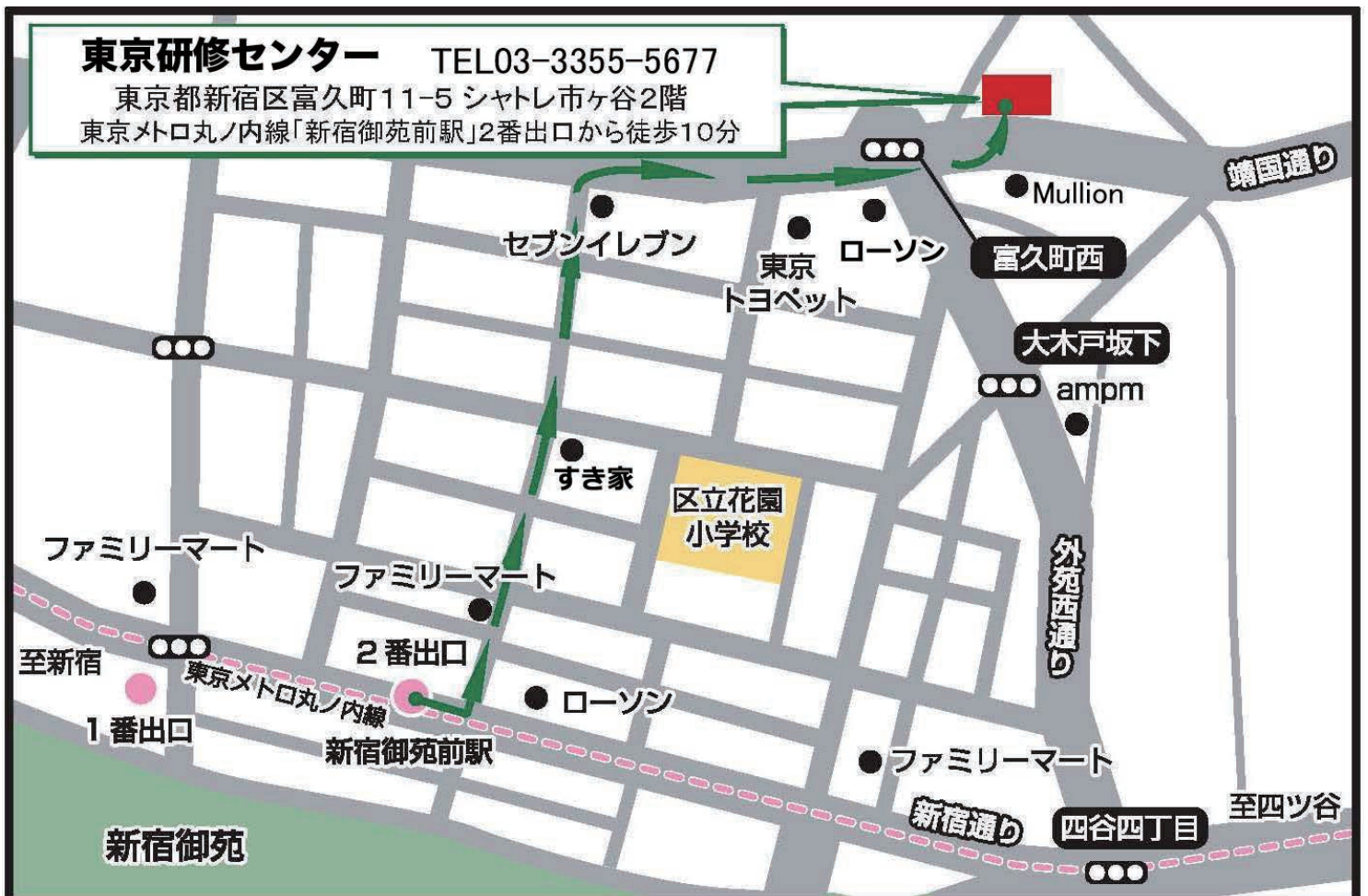
安藤たかおと医療の未来を語る

日本慢性期医療協会は、全国の1000を超える病院や施設が会員となり、地域医療の充実に向けて、質の向上を目指したスタッフ研修などの活動をしています。

よい慢性期病院 50 ヶ条 (日本慢性期医療協会会長 武久洋三作成)

1. 病院が清潔なこと
2. 病院の理念が明確で適切なこと
3. 緊急入院が可能なこと
4. 緊急の検査が可能で的確な診断のもと、優れた積極的な緊急治療ができること
5. 最新の医療機器が揃っていること
6. 人工呼吸器装着患者さんなど重症の患者さんを受け入れていること
7. バーコード認証など導入し医療安全に最大限配慮していること
8. クリーンベンチによる注射薬ミキシングなど感染症予防等対策に万全を期していること
9. 院内で自主的に診療の質をチェックできる体制があること
10. 院内・院外の研修会の開催や学会参加に積極的なこと
11. 電子カルテの導入やITによる各種データについての統計分析が行われ利用されていること
12. 医師やスタッフが若々しく明るく親切なこと
13. 医師やスタッフの服装が清潔で、華美でないこと
14. 病状の説明がわかりやすいこと
15. よく質問に答えてくれること
16. 病棟にコメディカルが多く、チーム医療が積極的に行われていること
17. リハビリテーションスタッフが多いこと
18. リハビリテーションの回数が多く休日や夜間にも行われていること
19. 看護師や介護福祉士が多く配備されていること
20. 院内での褥瘡の発生がなく、持ち込み褥瘡も早期に改善していること
21. 看護・介護による頻回の見回りが行われていること
22. 膀胱内留置カテーテルの使用は極力行われていないこと
23. 良質なおむつを使用し夜間交換を減らして患者さんの負担を少なくしていること
24. 不必要な身体抑制が行われていないこと
25. ターミナルの定義があり、適切に対応していること
26. 食事がおいしいこと
27. 栄養管理・改善に熱心なこと
28. ソフト食や流動食を院内で作成するなど工夫していること
29. 温度や湿度など院内の環境が快適に保たれていること
30. 入浴・清拭・整容など患者さんが清潔に保たれていること
31. 病衣と日常着、リハビリ着など適切に更衣がなされていること
32. 緊急時以外の家族の付き添いを強要していないこと
33. お世話料などの余分な保険外負担金を請求しないこと
34. 家族の面会は自由なこと
35. 患者さんや家族からの金品を受け取らないこと
36. 敷地内禁煙を徹底していること
37. 病院内に売店があること
38. バリアフリーやウォシュレットなど患者さんに優しい設備管理ができていること
39. カルテ開示をしていること
40. 地域連携センターがあり、ケアマネジャーや社会福祉士や看護師など専門職が配属されていること
41. 退院促進や退院後の在宅支援に熱心なこと
42. 介護施設や介護サービスとの連携を促進していること
43. 在宅療養後方(支援)病院としての機能を有すること
44. 病院広報誌の発行や住民公開講演会や研修会の開催に積極的なこと
45. 苦情窓口やご意見箱があり、患者さんや家族の要望に応えていること
46. ボランティアを受け入れ積極的に情報開示をしていること
47. 平均在院日数が短く、在宅復帰率の高いこと
48. 高度急性期病院とのスタッフの交流や急性期治療後の早期の入院などの連携がなされていること
49. 日本医療機能評価や慢性期医療認定などの第三者評価を受けていること
50. 地域の診療所からの患者さんの入院やスタッフを派遣するなどの連携に熱心なこと

「良質な慢性期医療がなければ日本の医療は成り立たない」



※駐車場・駐輪場はございません。公共の交通手段をご利用下さい。会場内および会場周辺は禁煙です。